

## メルケル細胞癌における免疫チェックポイント阻害薬治療の効果予測に関する研究

### 1. 研究の対象

2018年から2021年7月に免疫チェックポイント阻害薬アベルマブ(バベンチオ®)の治療を受けられたメルケル細胞がんの患者さん

### 2. 研究目的・方法

グルコース-6-リン酸脱水素酵素(G6PD)が優れた予後マーカーとしてもちいることができるか、免疫チェックポイント阻害薬アベルマブ(バベンチオ®)での治療を受けられたメルケル細胞がん患者を対象に血液・組織を用いて確認することが目的です。

研究実施期間：研究許可日～2026年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

#### 調査項目

- ① 初診時年齢
- ② 性別
- ③ 原発部位、腫瘍のサイズ
- ④ 基礎疾患
- ⑤ 内服薬等、基礎疾患の治療詳細
- ⑥ 初診の年月日
- ⑦ 各検体の採取日(血清は治療前、治療開始後1か月おきに採取)
- ⑧ 前治療経過(手術日、放射線治療の有無、照射量、照射範囲)
- ⑨ 治療経過(アベルマブ開始年月日、投与年月日)
- ⑩ 再発、転移の出現・発見日
- ⑪ 臨床転帰(死亡、他病死、無再発 follow 中など)等

#### 検査項目

- ①組織免疫染色にて G6PD 発現率
- ②血清 G6PD 活性値
- ③組織免疫染色にて MCPyV (メルケルセルポリオーマウイルス) 感染の有無
- ④組織免疫染色にて PD-L1 の発現率
- ⑤腫瘍の免疫活性に関連する因子 (VEGFA, S100A9, TFRC, IGF1R, MAPK1, ID3, TNFAIP8, NCF1, CD52, IGJ, HLA-DRA, CXCR3, KIR2DL3, CD19) の発現率

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

研究の実施体制・研究組織

研究者氏名

名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 講師 中村元樹  
名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 教授 森田明理  
名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 准教授 加藤裕史  
名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 大学院生 野尻由佳  
名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 大学院生 真柄徹也

研究事務局

名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

Tel: 052-853-8261 Fax: 052-852-5449

Email: motoki1@med.nagoya-cu.ac.jp

担当: 中村元樹

参加予定施設 (50 音順) および各施設研究責任者 (敬称略)

大阪市立大学大学院医学研究科 皮膚病態学 小澤俊幸  
金沢大学医薬保険研究域医学系 皮膚分子病態学 小林忠弘  
熊本大学大学院生命科学研究部 皮膚病態治療再建学講座 福島聡  
群馬大学大学院医学系研究科 皮膚科学 安田正人  
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 緒方大  
埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科 中村泰大  
佐賀大学医学部内科学 皮膚科 永瀬浩太郎  
札幌医科大学 皮膚科 加藤潤史  
静岡がんセンター 皮膚科 吉川周佐  
信州大学 皮膚科 木庭幸子  
自治医科大学 皮膚科 前川武雄  
横浜市立大学大学院医学研究科 環境免疫病態皮膚科学 石川秀幸

## 6. お問い合わせ先

研究責任者:

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 緒方 大

東京都中央区築地 5-1-1

Tel: 03-3542-2511

研究代表者：

名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 講師 中村元樹

名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

Tel: 052-853-8261 Fax: 052-852-5449